

総合講座の活動

令和5年9月13日（水）

総合的な探究の時間として実施している「総合講座」の4つの講座で、校外活動や外部講師を招いた出前授業を行いました。

「高朋農園」の講座では稲刈り、「故郷探検」の講座はイタイイタイ病資料館の見学、「国際理解」の講座は県の国際交流員による出前授業、「環境問題」の講座は県環境科学センターの所員による出前授業を行いました。

<高朋農園>

秋晴れの青空の下、学校田の「稲刈り」を行いました。高朋農園の講座を選択している生徒32名が参加しました。コンバインでは刈り取れない四隅の稲を鎌で手刈りしました。初体験の生徒もおり、お互いに教え合いながら、作業をする姿も見られました。



順番に稲刈りを体験



手刈りの稲を揃えてコンバインにかける準備

<故郷探検>

バスで「イタイイタイ病資料館」へ行き、イタイイタイ病の恐ろしさや克服の歴史などについて学んできました。



職員からの説明



骨粗しょう症の骨と正常な骨の比較

<国際理解>

県の国際交流員でベトナム出身のグエン・ティ・タオさんと韓国出身のイ・ヘミンさんから、それぞれの国の国勢や文化などについて、クイズやゲームで楽しく紹介していただきました。



グエン・ティ・タオさんからベトナムの紹介



イ・ヘミンさんから韓国の紹介

<環境問題>

県の環境科学センターから2名の所員さんに指導していただき、パックテストによる水質検査（塩素濃度、pH、COD、硬度）を実際に行いました。



パックテストを使って水質検査